

CASBEE-広島（2010年ver.1）
ポレスター緑井

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版
■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目				環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
						評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質										3.2
Q1 室内環境							0.40			3.7
1 音環境						1.4	0.15	2.8	1.00	2.6
1.1 騒音				T-1 D-50 L-45		2.0	0.40	3.0	0.40	
1 暗騒音レベル		2.0	1.00			3.0	1.00			
設備騒音対策			-				-			
1.2 遮音		1.0	0.40			3.5	0.40			
1 開口部遮音性能		1.0	1.00			3.0	0.30			
2 界壁遮音性能			-			4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-			4.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-			3.0	0.20			
1.3 吸音		1.0	0.20			1.0	0.20			
2 温熱環境								2.6	0.35	
2.1 室温制御				最良の日射遮蔽・断熱性能を有する		3.0	0.50	5.0	1.00	
1 室温設定		3.0	0.63			-	-			
夏期室温制御設備の設置			-				-			
3 外皮性能		3.0	0.38			5.0	1.00			
4 ゾーン別制御性			-				-			
自然・風食制御設備の設置			-				-			
個別利用設備の設置			-				-			
設備の設置による配管経路の確保			-				-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20			-	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30			-	-			
3 光・視環境						3.0	0.25	3.2	1.00	3.1
3.1 屋光利用				2.0%以上		3.0	0.43	3.4	0.50	
1 屋光率		-	-			5.0	0.50			
2 方位別開口			-				0.30			
3 屋光利用設備		3.0	1.00			3.0	0.20			
3.2 グレア対策		-	-			3.0	0.50			
眩光対策			-				-			
2 屋光制御		-	-			3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.21			-	-			
1 照度		3.0	1.00			-	-			
照度基準			-				-			
3.4 照明制御		3.0	0.36	-	-					
4 空気質環境				F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用		3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策				F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用		4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		4.0	1.00			4.0	1.00			
放射線対策			-				-			
臭気対策			-				-			
バリアフリー対策			-				-			
4.2 換気				換気量1.4倍以上確保		3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量		-	-			5.0	0.33			
2 自然換気性能			-			1.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	1.00			3.0	0.33			
給気計画			-				-			
4.3 運用管理							-		-	
1 CO ₂ の監視			-				-			
2 喫煙の制御			-				-			
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.2
1 機能性						1.8	0.40	3.6	1.00	3.3
1.1 機能性・使いやすさ				100Mbitのブロードバンドが整備		1.0	0.60	4.0	0.60	
1 広さ・収納性			-				-			
2 高度情報通信設備対応			-			4.0	1.00			
3 バリアフリー計画		1.0	1.00				-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.40			3.0	0.40			
1 広さ感・景観			-			3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース			-				-			
3 内装計画		3.0	1.00			3.0	0.50			
1.3 維持管理			-				-			
1 維持管理に配慮した設計			-				-			
2 耐用性・信頼性						3.2	0.31		-	3.2
2.1 耐震・免震				磁器タイル:40年 衛生:B 消火:C		3.0	0.48		-	
1 耐震性		3.0	0.80				-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20				-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.6	0.33				-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23				-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		5.0	0.23				-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.09				-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08				-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0	0.15				-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23				-			

	2.3 設備の更新					-		-	
	2.4 信頼性					3.2	0.19		
	1	空調・換気設備				3.0	0.20		
	2	給排水・衛生設備				3.0	0.20		
	3	電気設備				3.0	0.20		
	4	機械・配管支持方法				3.0	0.20		
	5	通信・情報設備	光ケーブル対応、精密機器の浸水の危険性がない			4.0	0.20		
	3 対応性・更新性					3.0	0.29	3.0	1.00
	3.1 空間のゆとり						-	3.0	0.50
	1	階高のゆとり					-	3.0	0.60
	2	空間の形状・自由さ					-	3.0	0.40
	3.2 荷重のゆとり						-	3.0	0.50
	3.3 設備の更新性					3.0	1.00		
	1	空調配管の更新性				3.0	0.17		
	2	給排水管の更新性				3.0	0.17		
	3	電気配線の更新性				3.0	0.11		
	4	通信配線の更新性				3.0	0.11		
	5	設備機器の更新性				3.0	0.22		
	6	バックアップスペース				3.0	0.22		
	Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-
	1 生物環境の保全と創出					2.0	0.30		-
	2 まちなみ・景観への配慮					3.0	0.40		-
	3 地域性・アメニティへの配慮					3.0	0.30		-
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上				3.0	0.50		-
	3.2	敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50		-
	LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-
	LR1 エネルギー					-	0.40	-	-
	1 建物の熱負荷抑制		省エネルギー対策等級4			5.0	0.40		-
	2 自然エネルギー利用					3.0	0.20		-
	2.1	自然エネルギーの直接利用				3.0	0.50		-
	2.2	自然エネルギーの変換利用				3.0	0.50		-
	3 設備システムの高効率化		エコジョース等の高効率の機器の採用			5.0	0.40		-
	4 効率的運用						-		-
	4.1	モニタリング					-		-
	4.2	運用管理体制					-		-
	LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-
	1 水資源保護					3.4	0.15		-
	1.1	節水	節水型便器、節湯器具等の採用			4.0	0.40		-
	1.2 雨水利用・雑排水再利用					3.0	0.60		-
	1	雨水利用システム導入の有無				3.0	1.00		-
	2	雑排水再利システム導入の有無					-		-
	2 非再生性資源の使用量削減					2.8	0.63		-
	2.1	材料使用量の削減				2.0	0.07		-
	2.2	既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24		-
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-			3.0	0.20		-
	2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	造作材に集成材を使用。			3.0	0.20		-
	2.5	持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.05		-
	2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み				3.0	0.24		-
	3 汚染物質含有材料の使用回避					3.2	0.22		-
	3.1	有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32		-
	3.2 フロン・ハロンの回避					3.3	0.68		-
	1	消火剤	ハロン消火剤を使用していない			4.0	0.33		-
	2	断熱材				3.0	0.33		-
	3	冷媒				3.0	0.33		-
	LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-
	1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が少ない			3.5	0.33		-
	2 地域環境への配慮					2.4	0.33		-
	2.1 大気汚染防止					3.0	0.25		-
	2.2 温熱環境悪化の改善					2.0	0.50		-
	2.3 地域インフラへの負荷抑制					2.6	0.25		-
	1	雨水排水負荷低減				-	-		-
	2	汚水処理負荷抑制				3.0	0.33		-
	3	交通負荷抑制	駐車スペースの確保			4.0	0.33		-
	4	廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.33		-
	3 周辺環境への配慮					3.0	0.33		-
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40		-
	1	騒音				3.0	1.00		-
	2	振動				-	-		-
	3	悪臭				-	-		-
	3.2 風害、日照阻害の抑制					3.0	0.40		-
	1	風害の抑制				3.0	0.70		-
	2	日照阻害の抑制				3.0	0.30		-
	3.3 光害の抑制					3.0	0.20		-
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70		-
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30		-